

あ と が き

平成 24 年度、本園の職員構成が大きく変わりました。石川県では県教育委員会と附属学校の間で人事交流をしています。平成 23 年度末に本園から二人の教師が公立小学校へ異動し、24 年度初めに公立小学校から二人の教師が本園に赴任してきました。小学校・幼稚園間の人事交流は幼小連携を進める上でも、また、それぞれの校種の教員が学び合うという点にとってもメリットはとても大きいと考えています。

4 月も後半を迎える頃、小学校から異動してきたばかりのある教師から「幼稚園では、子ども達は遊びの中で学んでいると言うけれど、どの姿がそれにあたるのか、何を学んでいるのか、今日の前でしている遊びにどんな意味があるのか、どう支援していけばいいのかわからない」という率直な思いが語られました。教科書があり、その時間に学ぶ内容が明確な小学校の授業は数多く経験し、小学校教育における様々な研修は重ねてきているものの、幼稚園の遊びを中心とした生活の中で学びを保障していくことの理解やその実践は大変難しいと思います。では、幼稚園での勤務経験が長い教師がその答えを明確に説明し、小学校から赴任してきた同僚に分かるようにすぐに伝えることができるでしょうか。それも、大変難しいでしょう。

それなら、そのわからない部分、伝えにくい部分を研究していこうということになりました。このようにして本研究が始まった次第であります。拙い研究ではありますが、御一読いただき、忌憚のないご批判ご指導をいただければ幸いです。

最後になりましたが、これまでの研究にご指導いただいた多くの先生方に厚く御礼申し上げます。今後の研究に対しての更なるご指導をお願い申し上げます。

平成 25 年 6 月

副園長 上田 ますみ

